

# 東日本大震災被災地の保健活動

気仙沼市唐桑地域の活動報告  
～発災から半年間の活動を中心に～

みやぎ心のケアセンター気仙沼地域センター  
保健師 鈴木 妙子

# 宮城県気仙沼市



# 気仙沼市唐桑町



# 巨釜



# 半造



# 御崎のニッコウキスゲ



# 震災前後の気仙沼市の人口と世帯数

| 区 分     | 震災前<br>(H23. 2. 28) | 震災後<br>(H24. 2. 28) | 増減      |
|---------|---------------------|---------------------|---------|
| 人口      | 74,247              | 69,986              | △ 4,561 |
| 唐桑地域（再） | 7,598               | 7,230               | △ 368   |
| 世帯数     | 26,601              | 25,555              | △ 1,046 |
| 唐桑地域（再） | 2,389               | 2,324               | △ 65    |

# 東日本大震災

## 気仙沼市の概要

- \* 発災時間 平成23年3月11日（金）14：46
- \* 震源の規模 マグニチュード 9.0
- \* 震度 6弱（5強～6弱）

|        | 気仙沼市   | 唐桑町（再） | 平成24年<br>現在 |
|--------|--------|--------|-------------|
| 死者数    | 1,034  | 101    | 5月17日       |
| 行方不明者数 | 288    | 2      | 5月17日       |
| 住家被災棟数 | 14,437 | 1,350  | 5月17日       |
| 被災世帯数  | 9,500  | 572    | 5月17日       |



# 東日本大震災

## 気仙沼市唐桑地域の概要

### ○ライフラインの状況

- \* 電気、上下水道、固定電話、携帯電話が全面ストップし、4月中旬から順次回復し、5月末ごろまでに津波浸水区域を除きほぼ回復する。

### ○避難所の状況

- \* 当初19か所 避難者約1,300人 （地区自治会主体の運営）

### ○被害の特徴

- \* 高台か否か、海岸からの距離によって被害状況の明暗が分かれた
- \* 地震による被害よりも津波による被害が大きい

# 震災直後の唐桑地域の状況



# 震災直後の唐桑地域の状況



# 震災直後の唐桑地域の状況



# 発災時の状況

## ～燦さん館避難所の開設～

\* 気仙沼市保健福祉センター「燦さん館」

唐桑総合支所保健福祉課 気仙沼社協唐桑支所 唐桑ディサービス ヘルパーステーション

- 地震の揺れが収まらないうちから避難者が集まり始める
- ディサービスセンターの利用者が帰れない
- 「燦さん館」に避難所開設
- 近隣の住民、水産加工会社の従業員、工事現場の労働者等  
200余人が避難



# 燦さん館避難所の保健活動 1

## (発災時)

- \* 避難者名簿作成
- \* 避難者の安全確保
- \* 環境整備
- \* 水、食事、毛布等の支給



# 燦さん館避難所の保健活動 2

## (3/12～3/30)

- \* 安否確認対応
- \* 健康管理(医療、保健、服薬、透析、妊婦、乳幼児、高齢者、要援護者、その他)
- \* 衛生管理(避難所の生活環境)
- \* 感染症・食中毒予防対策
- \* 生活リズム
- \* 各種支援チームの対応(DMAT、心のケアチーム他)
- \* 住民支援(訪問、面接、相談、生活支援)



# 唐桑総合支所災害対策本部の保健活動 (3/31～5/17)

- \* 保健福祉センターから唐桑総合支所へ移動
- \* 医療救護班チーム(小学校単位3か所固定救護所・巡回診療)
- \* 保健師チーム(尼崎保健所チーム・東京都チーム・北海道チーム)
- \* こころのケアチーム(北海道チーム)
- \* 巡回療養支援隊
- \* 各チーム間のコーディネート
- \* 地域内避難所の巡回指導
- \* 地域住民の支援(保健活動・生活支援)





# ライフライン復旧後の保健活動 (5/18～8月末)

- \* それぞれの支援チームの撤退
- \* 避難所の生活環境調査
- \* 仮設入居開始
- \* 仮設の全戸訪問による健康調査(保健師チーム)
- \* 支援団体の活動開始(友愛訪問員・サポートセンター・生活支援相談員)
- \* 全ての避難所が閉鎖
- \* 徐々に通常の保健業務に移行



# 活動を振り返って 1

- \* 住民間のつながり(地域の自助・共助)
- \* 日頃のトータルな保健活動
- \* 住民との連携
- \* 地域特性の把握(制度、社会資源、道路、地形など)
- \* 他職種・他機関との日頃からの関係
- \* 情報の把握(生活、医療、交通、その他)



# 活動を振り返って 2

- \* 災害時保健活動マニュアル
- \* 災害時の備え
- \* 障害者への対応不十分
- \* 情報入手手段



# 感謝

ご支援いただいた多くの皆様に  
心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

